

# 将来にわたり持続可能な豊かで幸せな町づくりを

平成30年第1回町議会定例会が3月6日から12日まで開かれ、平成30年度予算案などが審議されました。

徳永町長が行った町政執行方針と、小林教育長の教育行政方針の概要をお知らせします。

## オンリーワンの政策を磨きあげ、人口減少をストップする

この5年間、国の経済政策であるアベノミクス「改革の矢」により、雇用者数の増加、新卒者の就職率の改善、株価の持ち直しなど、日本経済の成長軌道が確かなものになりつつあると言われています。しかしながら、少子高齢化、東京一極集中による人口減少が急速に進み、農業や観光業だけでなく、あらゆる業種の人材不足が深刻な問題となつて



平成30年度町政執行方針  
町長 徳永 哲雄



温泉の多角的な利用を検討

おり、地方経済は、依然として厳しい状況に変わりありません。このような中でも、まちの将来像である「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」の実現に向け、人口減少や、地域経済の低迷、財政の健全化など山積する諸問題に立ち向かって行かなければなりません。そのためには、まちの特色である、再生可能エネルギーを活用した新たな産業や、農業と観光業の連携による地域循環型経済のさらなる推進と新たな雇用の創出、これからの弟子屈町を担う子どもたちなど積極的に地域で活躍できる人材の育成を進め、一度町を離れた子どもたちが、再び弟子屈町に戻って来たいと思えるまちづくりを進めていきます。

第5次総合計画の最終年度である平成33年度までの間「オンリーワンの政策を磨き上げて人口減少をストップする」を基本方針として

「第5次総合計画」と「まち・ひと・しごと創生戦略」に位置付けられている3つの重点プロジェクトを、より集中的に実施し、実効性が高まるよう、計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Actio)というPDCAサイクルを継続的に進めていきます。

## 環 人と自然が共生する

### 自然環境の保全と活用

- ▼第2次環境基本計画を策定し、さらなる自然資源の保全に向けた意識向上とエコリズムを中心とした観光振興の推進。
- ▼摩周湖における、長期的な保全を目的とした水質モニタリング調査活動などの継続。
- ▼屈斜路湖における、湖水の適正利用に向け、動力船、無動力船の住み分けによる事故防止の取り組みを推進。

### 循環型社会の構築

- ▼地球温暖化対策として、町内の防犯灯のLED化を実施。
- ▼地熱や温泉熱などの自然エネルギーの活用、事業化に向けた調査研究の推進。
- ▼温泉の多角的な活用を図るため、新たな泉源の掘削やバイナリー発電などについて調査研究を推進。

## 活 まちに活力・活気、雇用を生み出す

### 足腰の強い産業育成

- ▼国に対する、家族経営を基本とする農業への対策の要請。
- ▼農業経営の安定を図るため、農協などと連携し継続的な基盤整備を実施。
- ▼耕畜連携による域内自給飼料の確保に向けた取り組みの推進。
- ▼農業の担い手を確保するため、農協との連携による農業実習生や研修生の受け入れ事業への支援。
- ▼国や道に対する、畑作の経営所得



地域活性化のため各観光案内所を活用

### 安定対策の継続を要望。

- ▼畑作における新たな作物導入による経営形態の見直しと、輪作体系の確立。
- ▼エゾシカなどによる農業被害対策の継続。
- ▼ワイン用ブドウの苗木の育苗と栽培面積の拡大。
- ▼農道や町営牧場育成舎などの整備、草地改良など国営・道営土地改良事業による基盤整備の継続。
- ▼町の森林整備計画に基づいた森づくりの推進。
- ▼町有林の多面的機能を発揮させるための町有林造林事業の継続。
- ▼林業従事者の担い手を確保するための支援を実施。
- ▼屈斜路湖での漁業協同組合の設立と、漁業権取得に向けた取り組みの継続。
- ▼空き店舗活用事業による支援の継続。
- ▼道の駅「摩周温泉」など各観光案内所活用による、観光客の域内消費の推進。
- ▼町内企業の域内調達への推進、中小企業振興融資制度などによる商業者への経営安定化支援。
- ▼資格取得支援制度の拡大と新規雇用促進事業の継続。
- ▼町内企業の人材確保に向けた取り組みを推進。
- ▼摩周湖観光協会と連携し、商談会や営業など誘客プロモーション

## 暮 誰もが安心して暮らせる

### 保険医療体制の充実

- ▼自然環境の保全と活用を両立した滞在型エコツアーの造成による観光客の満足度向上と、地域経済活性化の推進。
- ▼広域観光として、周辺地域や各種団体と連携し、観光客の利便性を高める効果的な取り組みの継続。
- ▼積極的な企業誘致活動の推進。
- ▼健康づくり推進委員との連携強化による各種がん検診の受診率向上。
- ▼保健指導や健康教育の充実による生活習慣病の予防と健康寿命の向上。
- ▼各種予防接種費用助成の継続実施。
- ▼地域医療の中核である摩周厚生病院に対する支援の継続。
- ▼特別養護老人ホーム摩周、養護老人ホーム倅和園との円滑な連携。
- ▼乳幼児から高校生までの医療費実質無料化の継続。
- ▼4月から財政運営の主体が北海道に移行する国民健康保険事業における円滑な制度移行と適切な保健事業の実施。

### 地域福祉の充実

- ▼地域全体での支え合いや人材育



地域全体で支える体制作りを

- 成のための支援の継続。
- ▼適切な相談支援が実施できる体制づくりを推進。
- ▼社会福祉協議会と連携した高齢者福祉事業の運用による高齢者の健康保持と生きがいのある生活の支援。
- ▼住まい・医療・介護予防・生活支援の各分野が連携して支援する地域包括システムの構築。
- ▼障がい者基本計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画に掲げた各種施策の推進。
- ▼こども発達支援センターを中心に関係機関と連携した療育支援の継続。



だれもが安心して子育てできるまちへ

### 子育て支援

- ▼出産・育児に対する不安を解消するための、産前・産後ケア事業を実施。
- ▼妊婦健診時の通院費を助成する妊産婦安心出産支援事業の実施。
- ▼赤ちゃんすくすく応援券交付事業の拡充。
- ▼保育園や幼稚園の利用者負担への助成の継続と、低所得者への支援の拡充。
- ▼町立保育園と摩周丘幼稚園を一つにした公私連携型幼保連携認定こども園の平成31年度開園を目指した取り組み。
- ▼さまざまな困難や課題を抱える子どもたちへの学習支援や食事の提供を行う子ども居場所づくり推進事業の実施。

### 社会教育活動の推進

- ▼社会情勢の変化に対応し、ニーズに応じた学習活動の支援。
- ▼次代を担う青少年の健全な育成のための多様な体験活動を充実。
- ▼文化・スポーツ活動の推進
- ▼文化・体育関係団体との連携や、全道・全国大会出場への助成の継続。
- ▼スポーツ合宿誘致のための環境整備を推進。
- ▼地域固有種の希少植物の学術調査の実施。
- ▼アイヌの人々の伝統的な歴史や文化に関する知識の普及・啓発。



地域に貢献する人材育成の推進(平成28年度の報告会での様子)

- ▼くり推進事業の実施。
- ▼子育て支援センターにおける育児での孤立や不安解消につながる支援や、母親講座などの継続。
- ▼放課後児童クラブでの保護者支援と利用児童の安全・健康の確保。
- ▼保育の質を高めるための支援員の処遇改善の実施。

### 生活基盤の向上

- ▼老朽管の改修、検定満了水道メーター器の交換、配水施設の整備による安全・安心な水道水の供給。
- ▼維持管理体制の強化による温泉の安定供給。
- ▼摩周地区の下水道整備。
- ▼弟子屈浄化センターの長寿命化による適正な汚水処理。
- ▼下水道計画処理区域外での適正な合併浄化槽事業の推進。
- ▼地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通空白地域の解消と交通弱者の利便性向上の推進。
- ▼JR釧網本線の存続について、沿線自治体や北海道と連携した要望。
- ▼公営住宅敷島団地1棟4戸の建設と鉛別団地の実施設計。
- ▼みはらし団地5号棟の長寿命化工事、住環境の改善工事、物置の改築、通路の改良、敷地内防護フェンスの改修。
- ▼住宅建設促進事業継続による民間住宅の新築・リフォーム支援。

### 人 興味と関心を持ち、行動する人を育てる

- ▼人材育成・人づくり・人材の確保
- ▼退任する地域おこし協力隊員への支援と、地域の魅力を高める人材として、新たな協力隊員の募集。
- ▼ふるさとづくり人材育成事業の充実強化による、地域づくりに資する人材の育成と若い世代の定住化の推進。
- ▼まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援
- ▼人財バンク制度活用による、誰もが活躍できる社会の構築、地域間交流や町外からの定住促進。
- ▼ともに汗をかき進めるまちづくり
- ▼南弟子屈地域が活性化し、地域が自立し稼げる具体的な取り組みの実施。
- ▼経済政策課題について民間の実務経験者への政策相談業務委託。

### 公 誰でもまちづくりに参加することができる

- ▼時代即し、透明性の高い行政運営
- ▼広報でしかが、町公式ウェブサイトの充実、メール配信サービスな

- ▼水郷公園を中心とした施設の老朽化に対する改築・更新の実施。
- ▼水郷公園などの照明器具のLED化。
- ▼町道奥春別団地線、鉛別西5号線の改良・舗装工事の継続。
- ▼町道弟子屈原野9線防雪事業の継続。
- ▼南弟子屈橋の改修など、既存橋梁の計画的な修繕による地域道路網の安全性・信頼性の確保。

### 安全・安心の確保

- ▼空き家所有者などへの適切な管理の周知と除却への対応の継続。
- ▼弟子屈警察署や各関係機関・自治会などと連携した交通安全運動の推進。
- ▼運転免許の自主返納者への交通安全講習の実施



避難訓練の実施や避難施設の環境整備を推進



子どもたちがここで暮らしたいと思えるまちに

- ▼費を支援する制度の構築。
- ▼弟子屈消費者協会、防犯協会や弟子屈警察署などの関係機関と連携した情報共有と、消費者の安心安全確保のための意識啓発による、消費者行政の推進。
- ▼火山防災における避難計画の策定作業の推進。
- ▼全国瞬時警報（Jアラート）システムの更新。
- ▼避難収容施設での公衆無線LAN（Wi-Fi）の環境整備
- ▼河川や土砂災害などへの防災減災対策の実施。

### 育 豊かな心を育て、文化を大切に

- ▼学校教育の充実
- ▼家庭や地域に信頼される学校づくりの積極的な推進。
- ▼地域社会と連携を深め、特色ある教育活動の展開。
- ▼玉川学園との連携によるイングリッシュ・キャンプの継続と、小学校教員の英語指導力向上のための講座の開催。
- ▼教育環境の整備・充実、就学児童生徒保護者への支援。
- ▼弟子屈高校生徒への各種支援を継続。
- ▼弟子屈高校存続問題への働きかけの継続。



「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」を目指して

町の特性と目指す方向性をしっかりと見据え、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進します。町を取り巻くさまざまな課題を解決するため、これまで述べました施策を着実に実施していくことで「豊かで幸せな町」を実感できるよう、全力で町政を進めていきます。